

令和7年度 学生生活実態調査アンケート

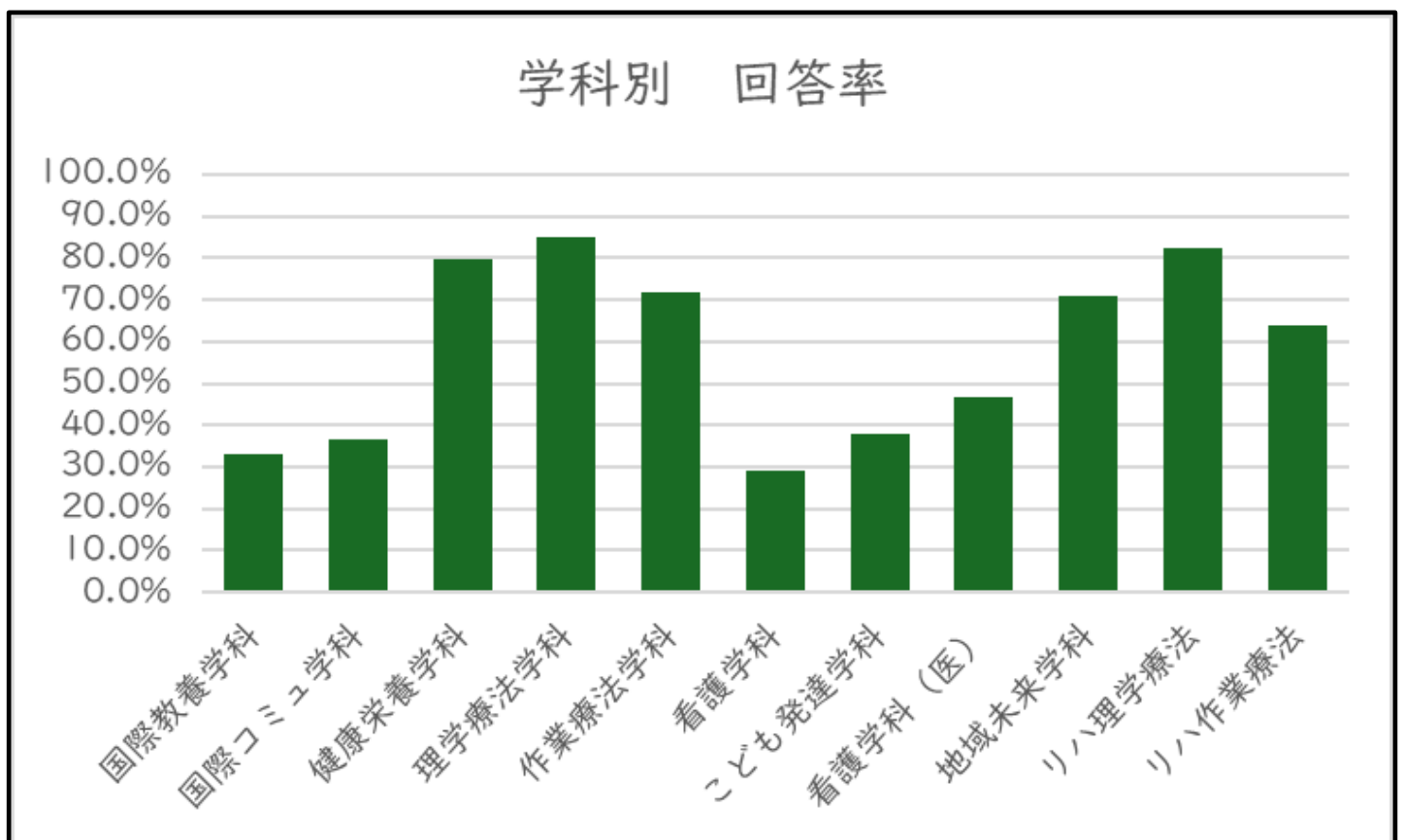
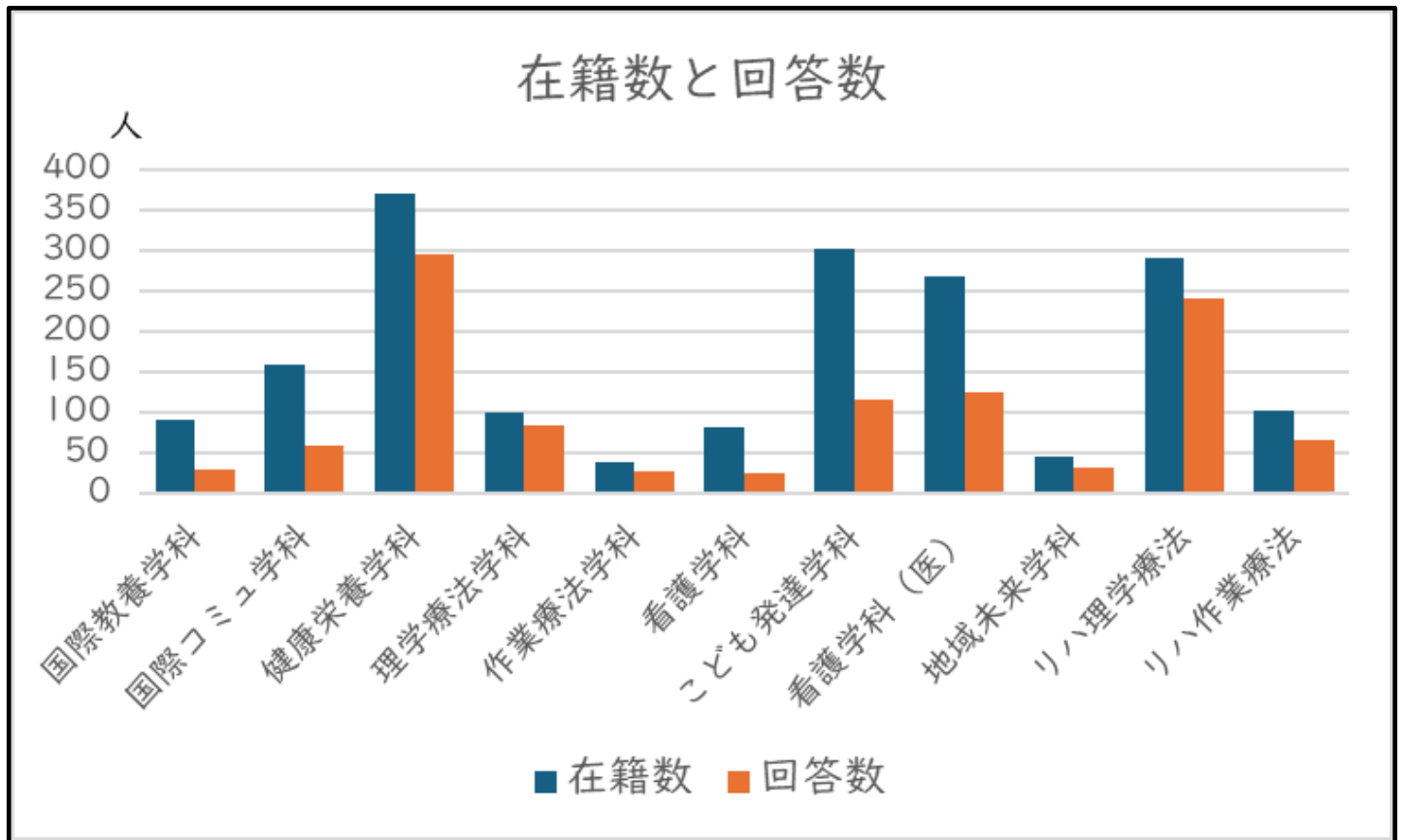
集計結果（講評入り）

令和7年12月3日
北海道文教大学 学生課

アンケート概要（在籍数と回答数及び回答率）	2
[1] 基本情報.....	3
[2] 志望動機について	4～5
[3] 学生生活について	6～9
[4] 学習時間及び成績について	10～11
[5] 悩み事について	12～13
[6] 大学・学友会行事の参加について	14～18
[7] サークル活動について	19～21
[8] 居住状況について	22～23
[9] アルバイトについて	24～25
[10] 昼食について.....	26～27

アンケート概要（在籍数と回答数及び回答率）

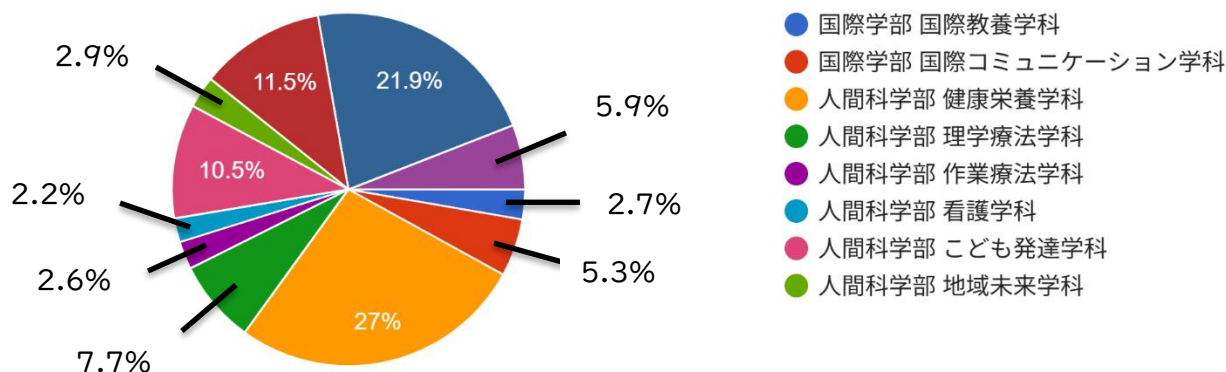
1,098件の回答



[1] 基本情報

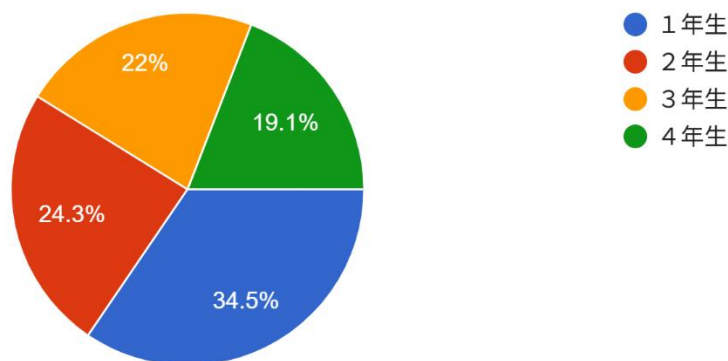
[Q1-1] あなたの所属学科は？

1,098 件の回答



[Q1-2] あなたの学年は？

1,098 件の回答



<学生委員のコメント>

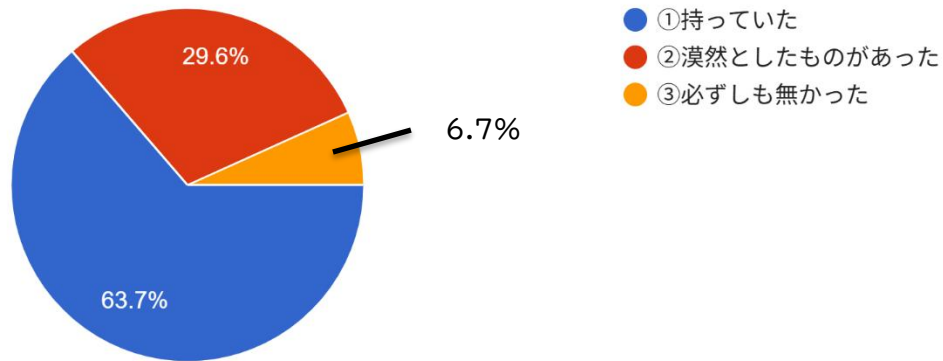
学生生活実態調査アンケートは、「学生の生活実態を把握し、学生生活面での改良及び修学指導上の参考にする」との目的で、2002年度から調査内容を若干変更しながらほぼ毎年実施してきた。

調査票は学生委員会が作成し調査を行った。

2025年度学生生活実態調査アンケートは、2025年9月下旬の後期オリエンテーションの際にGoogleフォームを使って周知又は実施された。対象1,841名中1,098名が回答し、回答率は60.0%(昨年34.0%)であり、昨年より26%ポイント高くなった。2025年度も学生への連絡等を徹底するため、学生課のGoogle Classroomを設定し全学生へ入室を促した。その結果、ほとんどの学生が入室しているが、学科によって学生課から依頼された通りオリエンテーション内で実施できた学科と時間の関係で実施できなかった学科によって回答率に差が出たのではないかと考えられる。

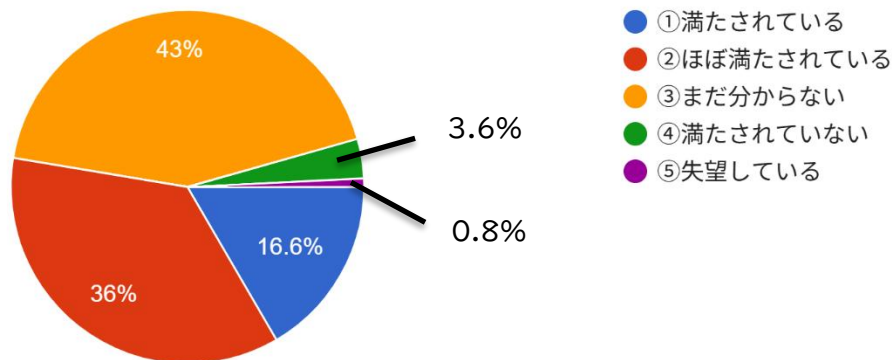
[2] 志望動機について

[Q2-1] 大学に入学するにあたって、志望動機として明確なものを持っていましたか？
1,098 件の回答



Q2-1で、志望動機について明確なものを「①持っていた」又は「②漠然としたものがあった」と回答した方への質問です。

[Q2-2] その動機は満たされたものになっていますか？
1,024 件の回答



Q2-1で、志望動機について明確なものが「③必ずしも無かった」と回答した方への質問です。

<学生委員のコメント>

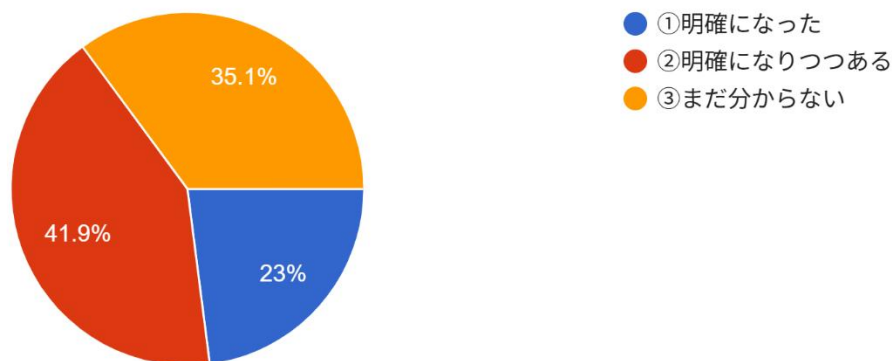
2-1)で「①持っていた」63.7%(前年比+5.5ポイント)又は「②漠然としたものがあった」29.6%(-3.6ポイント)、トータル93.3%(+1.9ポイント)と若干の増加が見られた。コロナも5類に変更となり、授業体制もコロナ以前に戻ったことで、将来の希望・進学についてしっかりと考える時間や体制ができていたので、大学入学時に志望動機を明確にしやすくなったのではないと思われる。

また、「①持っていた」「②漠然としたものがあった」と答えた学生は、その動機は満たされたものになっているかの質問に対し、全体では「①満たされている」16.6%(前年比+1.7ポイント)、「②ほぼ満たされている」36.0%(-0.3ポイント)、「③まだ分からない」43.0%(-1.5ポイント)、「④満たされていない」と「⑤失望している」を合わせて4.4%(+0.1ポイント)であった。「①満たされている」「②ほぼ満たされている」が1.4ポイントと若干の増加、「③まだ分からない」「④満たされていない」と「⑤失望している」が-1.4ポイントと若干の減少となっている。

これらもコロナの5類移行の影響がプラスに出ていると思われる。

[Q2-3] その後、大学で何を学ぶか、大学生生活の目的が明確になりましたか？

74 件の回答



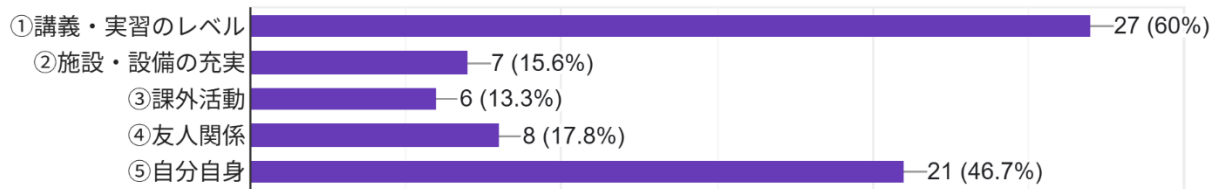
<学生委員のコメント>

2-1)で「③必ずしも無かった」と答えた学生は、その後、大学で何を学ぶか、大学生生活の目的が明確になったかの質問に対し、「①明確になった」23.0%(前年比+4.5ポイント)、「②明確になりつつある」41.9%(+1.2ポイント)、「③まだ分からない」35.1%(-5.6ポイント)であり、「明確になった・なりつつある」という学生の割合が増加し、「まだ分からない」が減少したのも、コロナの5類移行の影響がプラスに出ていると思われる。

Q2-2で、志望動機について明確なものはあったが「④満たされていない」又は「⑤失望している」と回答した方への質問です。

[Q2-4] 何に問題があると思いますか（複数回答可）

45 件の回答



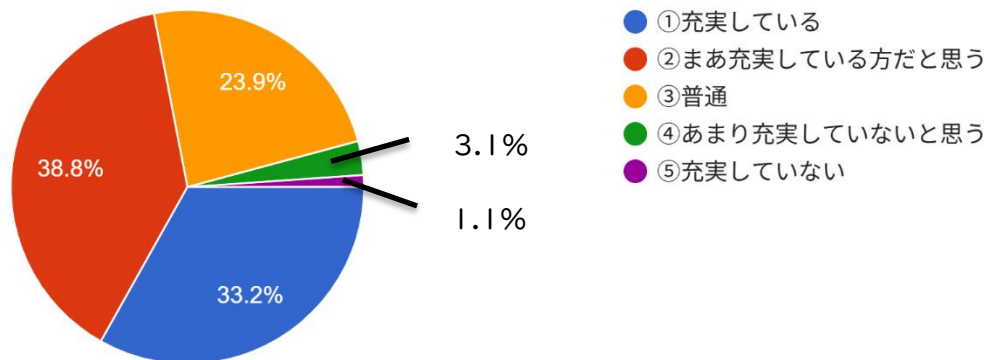
<回答数 = 1 の回答>

- 情報が遅い
- 他の分野の学問で学びたい事を見つけた
- 満足のいく講義ではないから
- まだ志望動機の先生の授業を受けられていない
- 職種
- 特になし国家試験のための勉強期間

[3] 学生生活について

[Q3-1] 学生生活は充実していますか？

1,098 件の回答

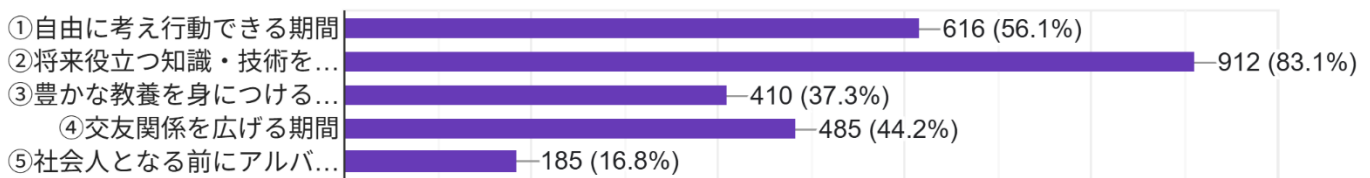


<学生委員のコメント>

学生生活については、「①充実している・②まあ充実している」72.0%（昨年度69.0%、一昨年度65.3%）であり、年々増加している。「③普通」と回答した学生は、23.9%（昨年度23.6%）であり、昨年度とおおきな変化はなかった。「④あまり充実していない・⑤充実していない」と回答した学生は、4.2%（昨年度7.4%、一昨年度6.2%）と減少していた。「充実している」と感じる学生は増加し、「充実していない」と感じる学生も減少しており、学生生活が充実する傾向にある。

[Q3-2] 大学時代は、人生のどのような期間と捉えていますか？（複数回答可）

1,098 件の回答



※設問補足：②将来役立つ知識・技術を身につける期間

③豊かな教養を身につける期間

⑤社会人となる前にアルバイトで稼げる期間

<回答数 = 1 の回答>

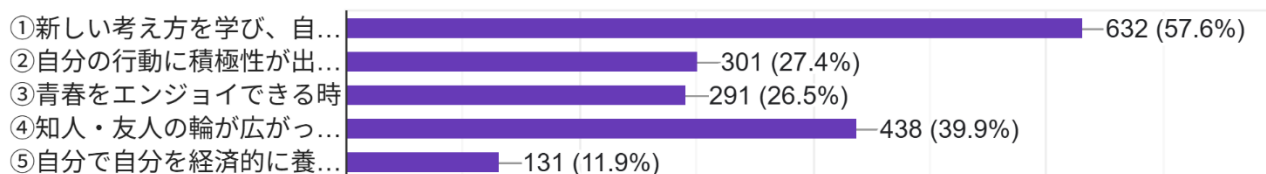
- 長期休暇期間
- 社会人になる前の準備期間
- 夏休み
- なりたい自分を目指せる場
- 将来の目標（夢）を決める期間
- 自由に行動できる期間でもあり、将来に向けて重要な期間
- 様々なことが出来る期間

<学生委員のコメント>

最も多かったのは「②将来役立つ知識・技術を身につける期間」で83.1%（昨年度80.2%、一昨年度78.5%）と増加し、2番目に多い「①自由に考え行動できる期間」は56.1%（昨年度51.6%、一昨年度52.4%）と増加している。3番目に多い「④交友関係を広げる期間」は44.2%（昨年度44.3%、一昨年度45.7%）と変化はなく、4番目の「③豊かな教養を身につける期間」は37.3%（昨年度35.3%、昨年度32.7%）と微増していた。「⑤社会人となる前にアルバイトで稼げる期間」は5番目であり16.8%（昨年度14.9%、一昨年度17.6%）と微増していた。全体の傾向は昨年度と同様であり、大学時代の捉えの傾向には大きな変化は認められなかった。各回答に減少したものはなく、学生時代は学修だけではなく、人生にとって意味のある時期と捉えていることが推察される。

[Q3-3] 学生生活の喜びはどのようなことですか？(一つまたは二つ選択)

1,098 件の回答



※設問補足：①新しい考え方を学び、自分が知的に成長していると感じる時

②自分の行動に積極性が出てきたと感じる時

④知人・友人の輪が広がったと感じる時

⑤自分で自分を経済的に養い、自立していると感じる時

<回答数 = 1 の回答>

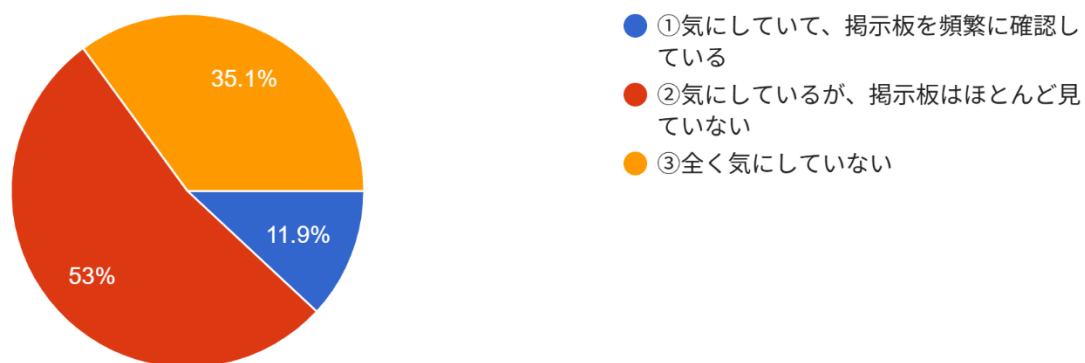
- 特になし
- 部活
- 夏休み
- わからない
- 様々な価値観を身をもって味わえる時
- 中高にはできない学びや友人との遊びができること
- 地域の子供達との関わり
- やり遂げられたとき (試合など)
- 自由
- テストの点数が伸びる
- 様々な人、考え方と触れ合えた時

<学生委員のコメント>

昨年度と同様に回答の多い順番1~4の変化はなかった。1番多く回答していた「①新しい考え方を学び、自分が知的に成長していると感じる時」は57.6% (昨年度57.9%、一昨年度49.3%) と大きな変化はなかった。2番目に多かった回答は、「④知人・友人の輪が広がったと感じた」39.9% (昨年度38.3%、一昨年度45.4%) と微増であった。3番目に多かった回答は、「②自分の行動に積極性が出てきたと感じる時」27.4% (昨年度27.4%、一昨年度24.3%) で昨年度と順位は上がったが比率は同じであった。4番目は「③青春をエンジョイできる時」26.5% (昨年度28.2%、一昨年度28.3%) と減少し、順位を一つ下げた。5番目は「⑤自分で自分を経済的に養い友人と有意義な時間を共有する」11.9% (昨年度9.2%、一昨年度10.3%) ち微増していた。学生は自身の知的な成長を感じることや積極的に活動できること、友人との時間の共有を喜びとしていた。一方で「③青春をエンジョイできる時」が減少しており、大学生活を楽しむという気持ちは強くない傾向がうかがえる。

[Q3-4] 学生課の掲示板には、各種奨学金の募集...は普段から、奨学金等の情報を気にしていますか。

1,098 件の回答

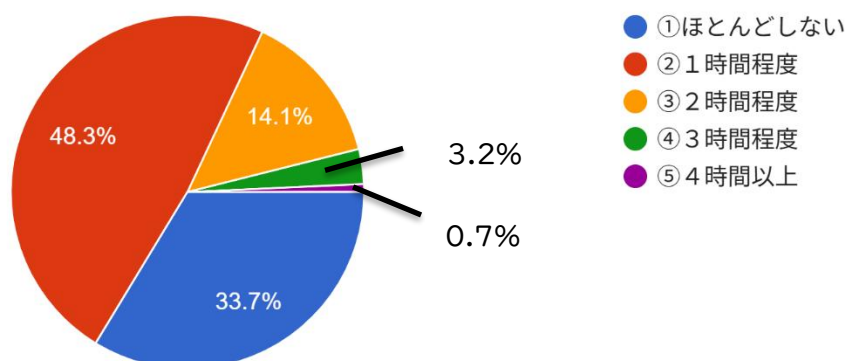


※設問補足： [Q3-4] 学生課の掲示板には、各種奨学金の募集や奨学生向けの連絡等を掲示しています。
あなたは普段から、奨学金等の情報を気にしていますか。

[4] 学習時間及び成績について

[Q4-1] 予習・復習に費やす1日の平均時間はどの程度ですか？

1,098 件の回答

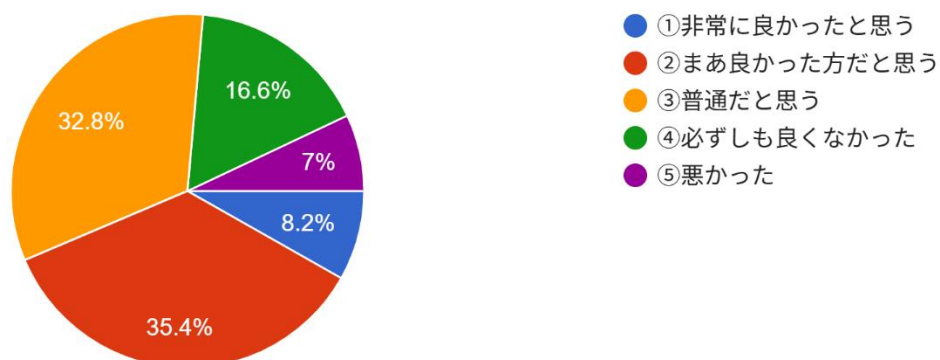


<学生委員のコメント>

予習・復習の時間については、わずかに悪化している。「ほとんど勉強しない」学生は32.6%から33.7%に増加した。「1時間勉強する」学生は0.7%増加した一方「2時間勉強する」学生は1.6%、「3時間勉強する」学生は0.3%減少している。

[Q4-2] 最近の学業成績について良かったと思いますか？

1,098 件の回答



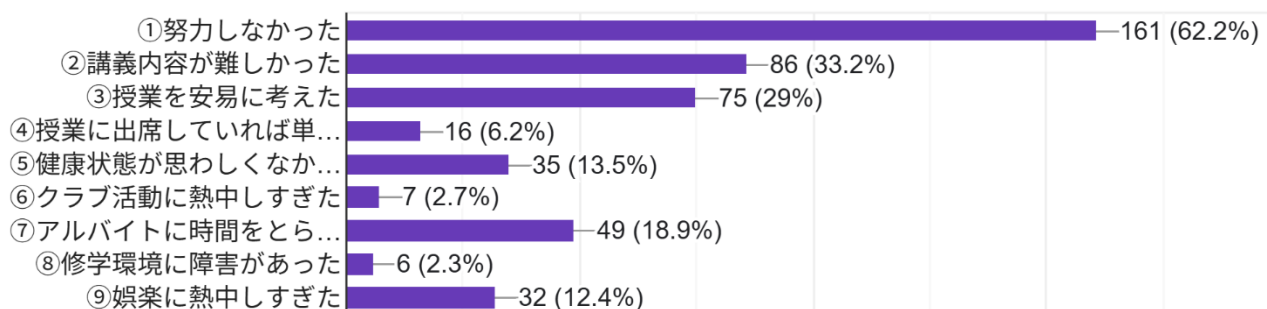
<学生委員のコメント>

学生自身の学業成績については、前年比でやや改善が見られる。「非常に良かった」と「まあ良かった」を足した割合は前年の40.6%に対して、43.6%と3%の増加となっているが、「非常に良い」は1.1%減少し、「まあ良い」が4.1%増加している。「普通」は0.7%で微増、「必ずしも良くなかった」は1.4%、「悪かった」は2.2%減少している。

Q4-2で、最近の学業成績について「④必ずしも良くなかった」又は「⑤悪かった」と回答した方への質問です。

[Q4-3] その原因を何だと思えますか？（複数回答可）

259件の回答



※設問補足：④授業に出席していれば単位がもらえると思っていた

⑤健康状態が思わしくなかった

⑦アルバイトに時間をとられた

<回答数=1の回答>

- 講義内容が漠然としすぎている
- 意欲、気持ちがわかなかった
- 実習科目が苦手で、実習時に上手くできなかった
- 将来を見据えた他活動との両立ができなかった
- 悩みがあり集中できなかった
- 特定の講義に力を入れすぎ部分的に他の講義に対して、力を入れることが出来なかった
- わからない。こんなに悪いとは思っていなかった。後期はここまで低い成績にならないよう、なぜこの評価なのか知りたいです。
- 努力が足りなかった
- 精神的な状況が悪くなく、通学が困難だった
- 勉強量が足りなかった

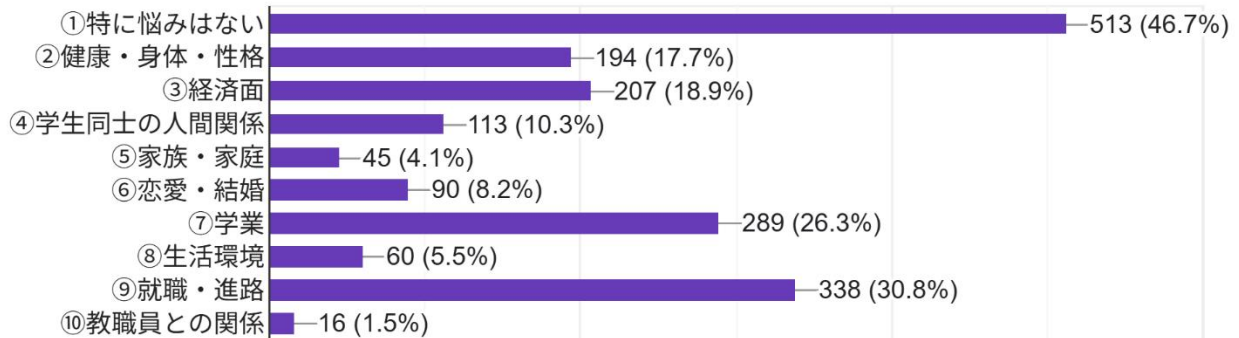
<学生委員のコメント>

成績不振の理由の上位には「努力しなかった」「授業を安易に考えた」「授業に出席していれば単位をもらえると思っていた」といった、自分に起因するものが1、3、4番目に多く、かつ前年比で各3.5%、4%、1.5%と増加傾向にある。2番目に多い「授業内容が難しかった」は過去3年間で減少傾向にあり前年比4.6%減少している。「健康状態が思わしくなかった」は1.3%増加。「クラブ活動に熱中しすぎた」は4.3%減、「娯楽に熱中しすぎた」は7.9%減少し、学生生活のバランスが取れてきているように見える。前年まで減少傾向にあった「修学環境に障害があった」は0.5%で微増。

[5] 悩み事について

[Q5-1] 現在、悩み事がありますか？（複数回答可）

1,098 件の回答



<回答数 = 1 の回答>

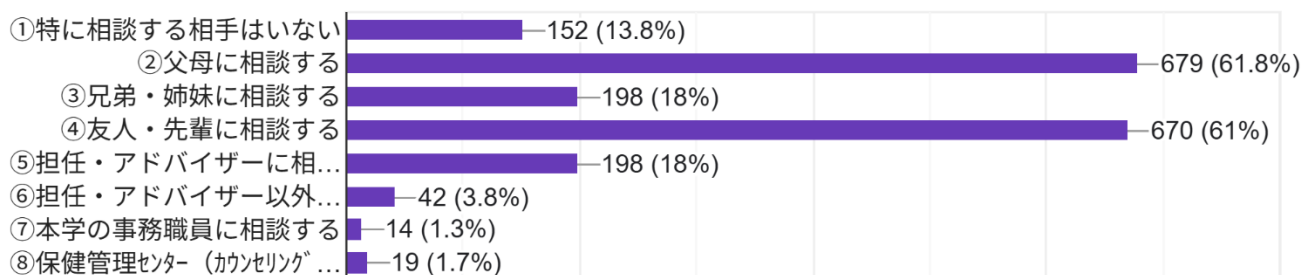
- 部活動
- 奨学金を借りれなかった
- アルバイトとの両立
- 不眠症
- ゼミ
- バイト先の先輩とのやりとり
- 国試が落ちそうなことが悩み
- ロッカーをとられたこと
- 自分勝手なこの世の全ての人間

<学生委員のコメント>

昨年の最も多かった悩みは就職・進路について30.4%、次いで学業26.1%、3番目に健康、身体、性格の19.8%であり4番目に経済面の16.1%であったのに対し今年度の結果は就職・進路について30.8%、次いで学業の26.3%、3番目に経済面の18.9%、4番目に健康、身体、性格の17.7%であった。進路就職で悩んでいる学生が多い中、経済面で悩んでいる学生が増えてくる可能性があるのではないかと考える。

[Q5-2] 悩みが生じた時、どのように対処しますか？（複数回答可）

1,098 件の回答



※設問補足： ⑤担任・アドバイザーに相談する

⑥担任・アドバイザー以外の教員に相談する

⑧保健管理センター（カウンセリング）に相談する

<回答数 = 1 の回答>

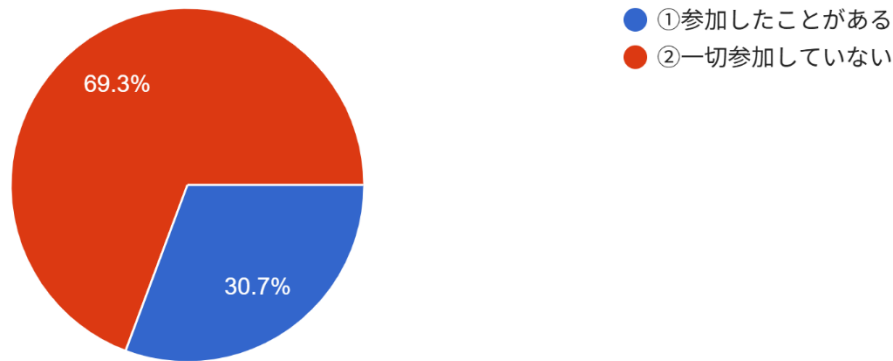
- パチンコ・パチスロなど
- 同居人
- 自分で溜め込む
- 自分で解決する
- 就職課の方
- ネット
- 精神科の先生
- 彼氏
- 基本まず自分で解決先を考えてみる
- 相談しない
- 自分でなんとかする
- 高校生の時の担任の先生
- chatGPTに相談
- AIに相談

<学生委員のコメント>

昨年の最も多かった相談者は友人、先輩が61.7%、次いで父母に相談する59.2%、3番目に相談する相手はいない17.6%、4番目に兄弟、姉妹16.3%に対し今年度の結果は父母に相談する61.8%、次いで友人先輩に相談する61.0%、3番目に担任アドバイザーに相談する、兄弟・姉妹に相談するの18.0%であった。昨年と比較をすると相談相手がいないが17.6%から13.8%に減りここ数年減少傾向にある。担任アドバイザーに相談する学生が15.3%から18.0%へとここ数年増加傾向にある。教員との信頼関係が構築されてきているのではないかと考える。

[6] 大学・学友会行事の参加について

[Q6-1] この1年間（1年生は入学してから）で大学・学友会主催行事に参加したことがありますか？
1,098 件の回答



<学生委員のコメント>

大学・学友会行事に「参加していない」がここ数年で60.7%→66.5%→69.3%と増加しており、いわゆるコロナ明けの令和4年度の72.8%に近づく数値となっている。以下の設問と関連させて原因を分析する必要がある。

Q6-1で、大学・学友会主催行事に「①参加したことがある」と回答した方への質問です。

[Q6-2] この1年間（1年生は入学してから）...た大学・学友会主催行事は何ですか？（複数回答可）
337 件の回答



※設問補足：[Q6-2] この1年間（1年生は入学してから）で参加した大学・学友会主催行事は何ですか？
（複数回答可）

<回答数=1の回答>

- ボランティア
- お菓子deリフレッシュ
- 食育教室
- 研修
- 社全教集会
- 学友会
- クリスマス会
- 学友会主催のレク
- 宿泊研修
- 2号館でやっていた活動

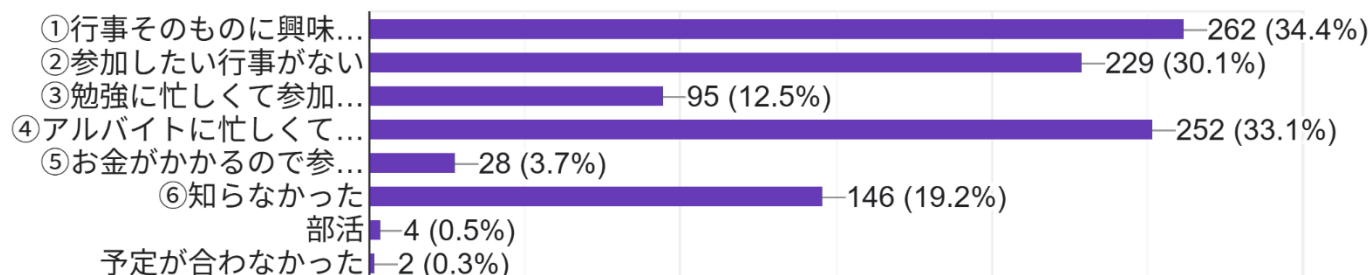
<学生委員のコメント>

令和5年度の「大学祭参加」が「参加したことがある」39.3%（近年最多）のうち90%の参加率を見せているのに対し、令和6年度・7年度は「参加したことがある」学生のうち60~70%の数値にとどまっている。これは実行委員会が新しく、事前の宣伝や学生・同級生の巻き込みなどがあまりうまく進まなかったのではないかとすることも考えられる。それに対して新入生歓迎会については令和5年度が16.9%→令和6年度が35.4%→令和7年度が50.1%と順調な伸びを示しており、新入生宿泊研修のあとの影響が徐々に浸透してきているとも考えることができる。

Q6-1で、大学・学友会主催行事に「②一切参加していない」と回答した方への質問です。

[Q6-3] これらに参加しない理由は何ですか？（複数回答可）

761件の回答



※設問補足：①行事そのものに興味がない

③勉強に忙しくて参加できない

④アルバイトに忙しくて参加できない

⑤お金がかかるので参加できない

<回答数=1の回答>

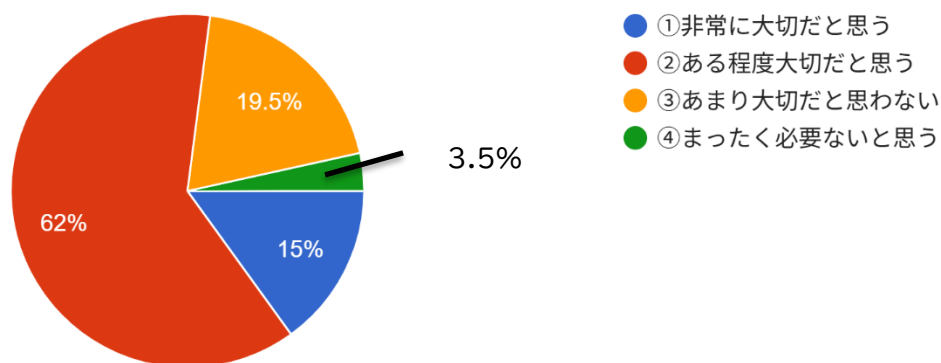
- つまらなさそう
- 休日に学校に行くのがあまり好きではない
- 忘れていた
- 勇気を踏み出せずに終わってしまった
- 急な家の都合で参加できなかった
- おもしろくない
- 人混みが苦手
- 日程が合わない
- 大学が自宅から遠いため
- 就活や資格取得で忙しい
- 実習
- 友達に行きたいという人がいない
- 締切が早く間に合わない

<学生委員のコメント>

行事そのものに興味がない、参加したい行事がないという理由が毎年、最も多いが、おそらく一度も行事に参加したことがない学生が多いのではないかと考えられる。「行事のイベントを再考する必要がある」との講評が毎年つき、ある程度は妥当かと思われるが、むしろ自身近辺のスケジュールを排してでも（思い切って）参加への一步を踏み出せる「外からの仕掛け」を作ってもよいかもしれない。

[Q6-4] 大学・学友会主催行事の参加は学生生活の充実に大切だと思いますか？

1,098 件の回答

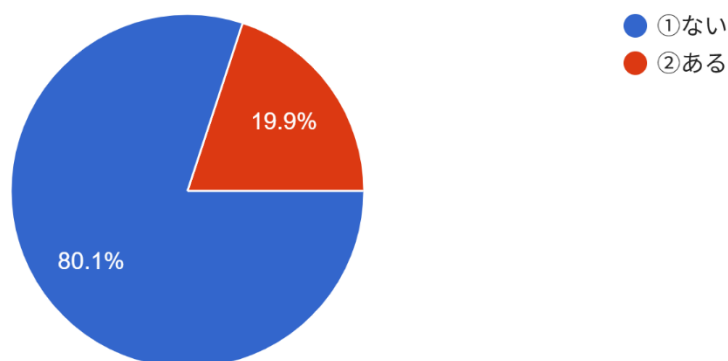


<学生委員のコメント>

「非常に大切だと思う」「ある程度大切だと思う」と感じている学生が77.0%もいるにもかかわらず参加率が30.0%であるというのは、やはり「とはいってもめんどろだ／なんとなく行く気にならなかった」という部分が多いかと思われるため、学生による自己参加意識を高める方法を試してみるのも意義があるのではないかと考えられる。

[Q6-5] この1年間（1年生は入学してから）...ティア活動（大学・学友会主催以外）はありますか？

1,098 件の回答



※設問補足：[Q6-5] この1年間（1年生は入学してから）で参加したボランティア活動（大学・学友会主催以外）はありますか？

<学生委員のコメント>

ボランティア活動は就職活動にも大きな影響を与えるため、「あれば参加したい」と考える学生は多いのではないかと。学内でも積極的に・大々的にボランティアの募集及びリクルートを行ってもよいのではないかとと思われる（アンケートの「参加したボランティア活動」リストなどを参考にできると思います）。

Q6-5で、この1年間で参加したボランティア活動が「②ある」と回答した方への質問です。

[Q6-6] この1年間（1年生は入学してから）で参加したボランティア活動（大学・学友会主催以外）の内容は何ですか？

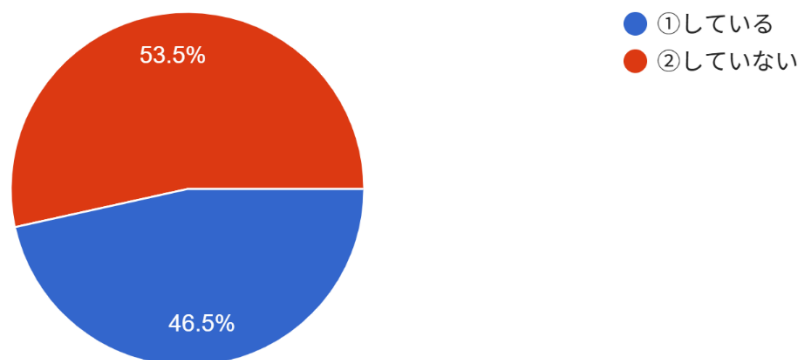
- 食育ボランティア
- オープンキャンパス
- ニセコクラシック
- 食の学校祭
- 町内会のゴミ拾い
- 地域のゴミ拾い
- 久原本家ボランティア
- 児童館祭りの設営
- 子ども食堂
- 道の駅のお花の整備
- 附属幼稚園のボランティア
- 子供たちの指導
- えにわん産業祭ボランティアスタッフ
- イベントの手伝い
- 発達支援センター祭り
- 中学校へ英語指導のボランティア
- 恵庭市での英語通訳のボランティア
- ミニバスケットボールのマネージャー
- 市内周遊プラン制作プロジェクト
- 国税調査の調査員
- 市役所主催の地域のボランティア
- スマホ教室
- 道の駅のハロウィンイベント
- 恵庭の10年後を考える
- 学習ボランティア
- マラソン大会
- スポーツ教室
- 遺伝子解析
- 自然体験のボランティア
- 託児所ボランティア
- 環境エネルギー展のボランティア
- 外国人交流会
- 音楽フェスの運営
- 恵み野中学校特支の調理実習補助
- 献血
- 保育園のバザー
- ニューージーランド交流会通訳
- エスコンでのボランティア
- ボランティア部の活動
- 雑草抜き
- 高齢者の体力測定会
- 学びの森
- 北文つむぎ
- 子どもたちと交流
- サッポロビール庭園のボランティア
- 美味しい大試食会
- こども発達支援センターの縁日
- めぐみのボランティア
- 通学合宿
- チャレンジド教室
- 少年野球
- 小学校読み聞かせ
- 小学生のキャンプイベントスタッフ
- えこりん村スタッフ
- 海のゴミ拾い
- 幼稚園の行事
- smileハウス
- マイナビバイトのボランティア活動
- 保育園夏祭りのお手伝い
- マラソン救護ボランティア
- ライオンズクラブスポーツ関連
- 北海道マラソン医療スタッフ
- 食品開発LABO
- ユニクロキッズフェスティバル
- 古田敦也の講話
- レッドコードの手伝い
- ふれあいセンターで子供たちと花植え
- 遊びの会
- ニセコ自転車レース
- YOSAKOIのボランティア
- さとらんど主催のボランティア
- サッカー場の準備ボランティア

- 外国料理の調理
- 親の職場のお祭りスタッフ
- キリスト教の教会子供の預かり
- 恵庭ふるさと公園へいわ盆踊り実行委員
- オピヒ高校訪問大学内ツアーガイド
- 多文化共生イベント「Global Chitose Village」恵庭国際交流プラザ会員及び一般ボランティアとして参加
- 恵庭外国人夏祭り当日スタッフ
- 秋入学留学生歓迎会

[7] サークル活動について

[Q7-1] サークル・部に所属していますか？

1,098 件の回答



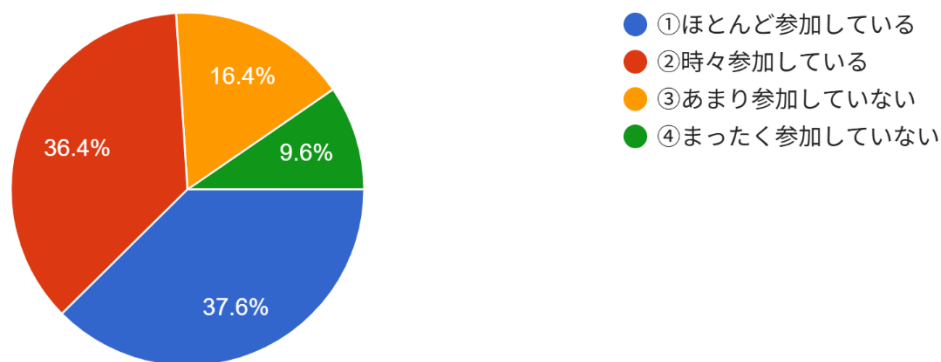
<学生委員のコメント>

サークル活動に参加している学生の割合はここ数年それほど変わっていない。

Q7-1で、サークル・部に所属「①している」と回答した方への質問です。

[Q7-2] サークル・部活動にどの程度参加していますか？

511 件の回答



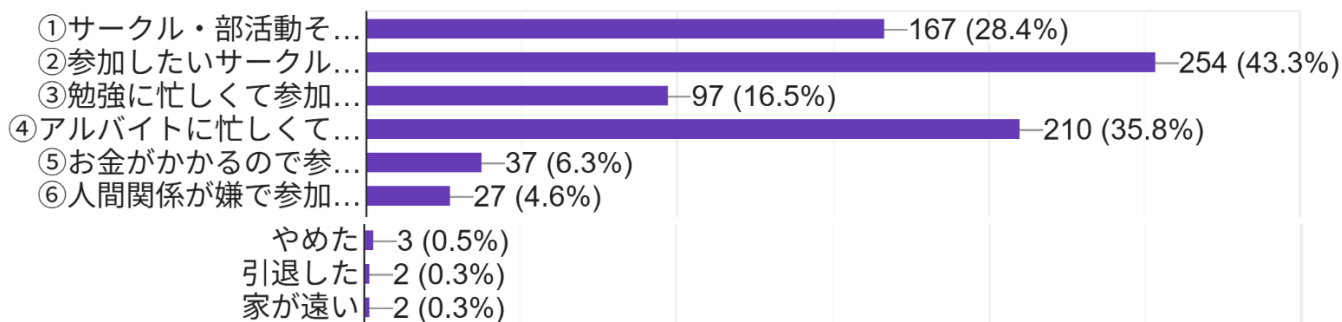
<学生委員のコメント>

前年度に比べ「あまり参加していない」学生が若干減少し「まったく参加していない」学生が若干増加したが、それほど変わっていないといってよい（令和4年度は積極的な参加が多いように見えるが、選択肢が「おおかた参加している」（他の年は「ほとんど参加している」）であるため制限が緩いと感じられたためであると考えられる（そのため「時々参加している」との和では他の年とそれほど差はない）。

Q7-1で、サークル・部に所属「②していない」と回答した方への質問です。

[Q7-3] 活動しない理由は何ですか？（複数回答可）

587件の回答



※設問補足：①サークル・部活動そのものに興味がない

②参加したいサークル・部活動がない

③勉強に忙しくて参加できない

④アルバイトに忙しくて参加できない

⑤お金がかかるので参加できない

⑥人間関係が嫌で参加できない

<回答数=1の回答>

- 入りたかったサークルの入部方法が1年次で見つけられずあきらめた
- ミニバスのマネージャーを学外でやっているため
- 通学に時間がかかる
- 社会人チームに所属している
- 持病がある

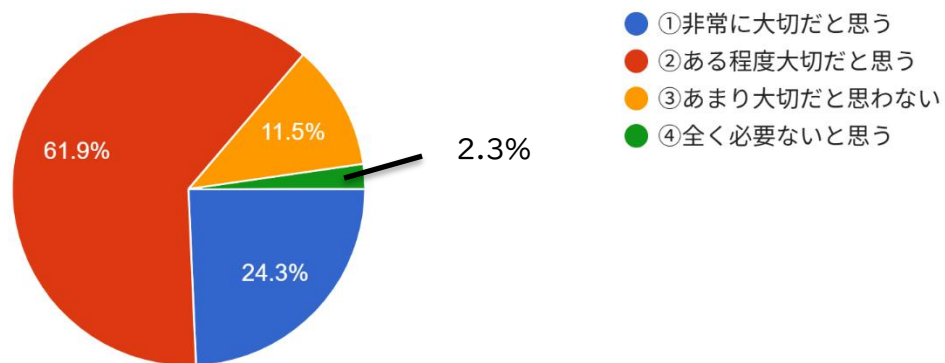
- 時間がない
- 自由に使える時間が減るから
- タイミングを逃した
- 帰る時間が遅くなる
- 歓迎ムードがなかった
- 弱いから
- 先生の性格、指導方針が合わなかった
- 個人で行っている
- 入るタイミングがわからない

<学生委員のコメント>

参加したい活動がない、アルバイトに忙しくて参加できない、サークル活動に興味がないなどの理由で参加していない学生が多く、ある程度はしかたのないことではないかと考えられる（大学として積極的に講ずべき手段は特にないのではないか）。

[Q7-4] 所属の有無に関わらず、一般にサークル・部活動は学生生活の充実に大切だと思いますか？

1,098 件の回答



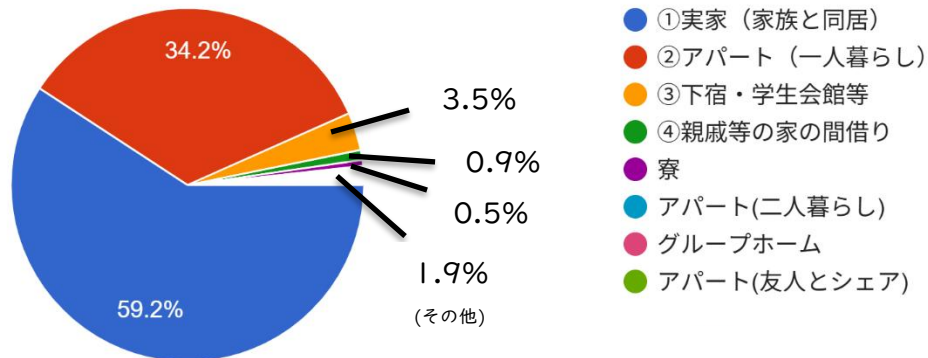
<学生委員のコメント>

サークル・部活動は学生生活の充実に大切だと考える学生が毎年3/4程度を占めており、積極的に参加している学生がある程度満足した活動が行えていることを読み取っても大きな間違いはないと考えられる（もちろん「大切だと考えるゆえに現状には大いに不満がある」という場合も十分に考えられるのではあるが）。その辺りを考慮に入れば、確かに「大切だと考えるが現在は所属していない」学生が一定数いる現状ではあるものの、大学として積極的な措置を講ずる（例えば「自分のやりたい活動」を見つけさせて新規のサークルを立ち上げるよう積極的に奨励するなど）必要はないのではと思われる。

[8] 居住状況について

[Q8-1] 現在住んでいる住居の形態は次のうちどれですか？

1,098 件の回答

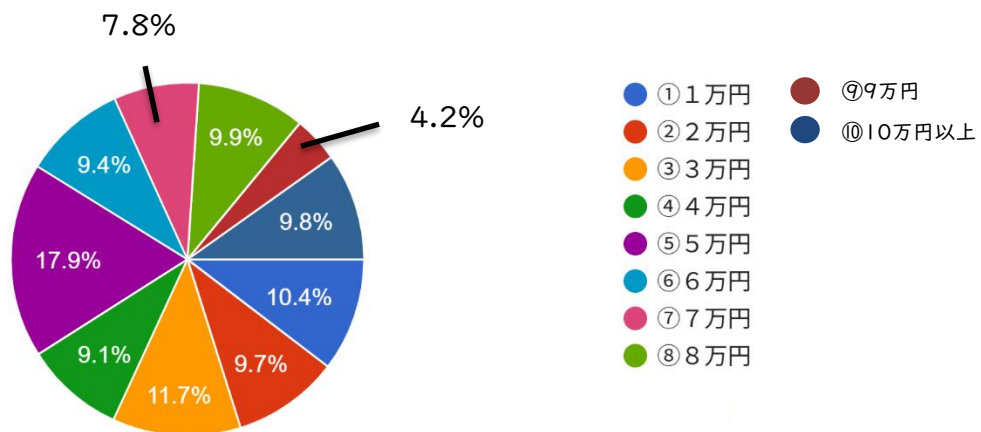


<学生委員のコメント>

実家または家族と同居している学生が59.2%、アパート等で一人暮らしをしている学生が34.2%と昨年度と比較すると、いずれの居住形態もほぼ同水準で推移しており、大きな変化は見られませんでした。

[Q8-2] 1ヶ月に必要な生活費（自宅以外の場合...熱費含む）に最も近い金額は次のうちどれですか？

1,098 件の回答



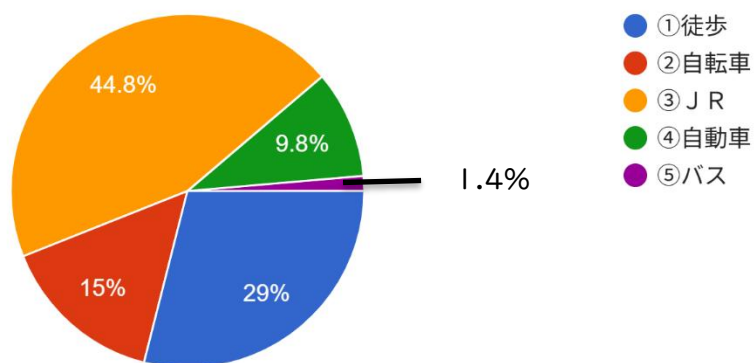
※設問補足：[Q8-2] 1ヶ月に必要な生活費（自宅以外の場合は部屋代・光熱費含む）に最も近い金額は次のうちどれですか？

<学生委員のコメント>

もっとも多い金額は、昨年度と同様に「5万円」でした。昨年度と比較して、「3～7万円」の生活費帯の割合が減少し、代わりに「2万円」および「8万円」と回答した学生の割合が増加しました。これらの変化は、学生の生活状況が二極化している可能性を示します。実家暮らしで生活費負担が比較的少ない学生が一定数存在する一方、家賃や食費などの支出が大きい一人暮らし学生では生活費が増加している可能性があります。

[Q8-3] 主な通学方法は次のうちどれですか？

1,098 件の回答



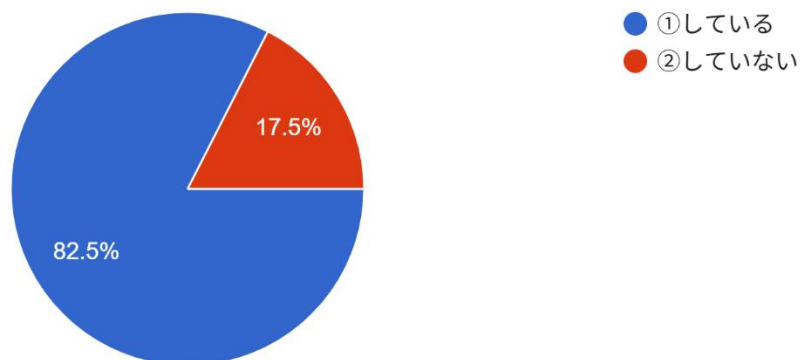
<学生委員のコメント>

JRを主な通学手段として利用する学生がもっとも多いが、昨年度より3.8%減少しました。一方で、3番目に多い自転車による通学は約4%の上昇が見られました。

[9] アルバイトについて

[Q9-1] 現在、アルバイトをしていますか？

1,098 件の回答



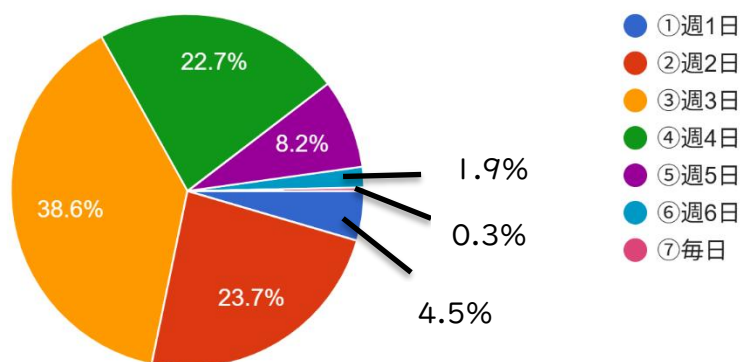
<学生委員のコメント>

アルバイトに従事する学生比率は引き続き上昇している。R4年度対比では6.8ポイントの増加がみられた。

Q9-1で、アルバイトを「①している」と回答した方への質問です。

[Q9-2] 1週間あたり何日アルバイトをしていますか？

906 件の回答

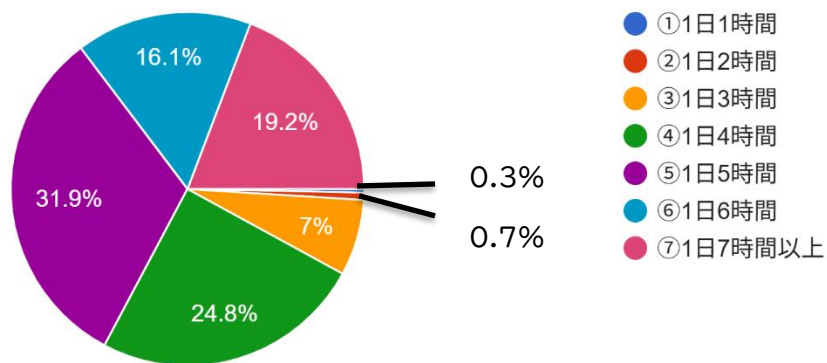


<学生委員のコメント>

週に5日以上就労する学生は微減であるが、3日以上就労する学生が7割を超えることは変わっていない。

[Q9-3] 現在、1日あたり何時間くらいアルバイトをしていますか？

906 件の回答



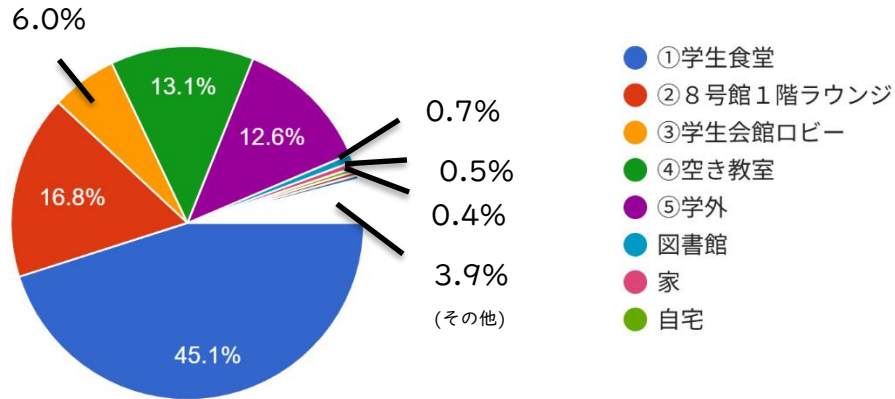
<学生委員のコメント>

3人に2人の学生が一日あたり5時間以上のアルバイトに従事している。

[10] 昼食について

[Q10-1] 一週間を通して一番利用しているところはどこですか？

1,098 件の回答



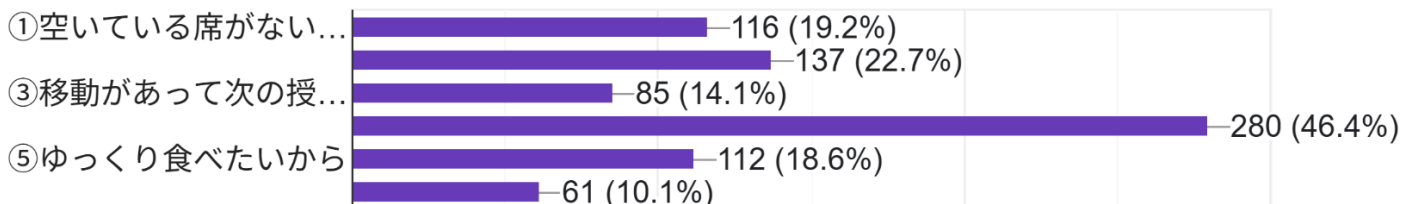
<学生委員のコメント>

一週間を通して昼食場所として最も利用されているのは「学生食堂」であり、利用割合は45.1%と昨年度(41.3%)より増加していた。学生食堂の利用割合は近年増加傾向が続いており、食堂のサービスや環境が学生にとって利用しやすい状況にあることがうかがえる。一方で、「8号館1階ラウンジ」や「空き教室」を利用する学生も一定数おり、それぞれ16.8%、13.1%の回答が得られた。これらの値は昨年度と比較して大きな変動はないものの、空き教室の利用割合がやや減少し、ラウンジの利用が微増している点が特徴的であった。また、「学外」や「学生会館ロビー」など、食堂以外の場所を選択する学生も確認され、多様な昼食スタイルが保持されていることが示された。これらの結果から、学生食堂の需要が引き続き高まっている一方、静かな環境を求めたり、友人関係や授業との移動動線を考慮した上で食堂以外の場所を選ぶ学生も一定数存在していると考えられる。そのため、食堂のみならずラウンジや空き教室といった学内の複数の飲食可能エリアにおいて、快適性や利便性の向上を引き続き図ることが求められる。

Q10-1で、学生食堂以外を頻繁に利用していると回答した方への質問です。

[Q10-2] 学食を利用しない理由は何ですか？(複数回答可)

603 件の回答



※設問補足：①空いている席がないから

- ②金銭的な理由から
- ③移動があって次の授業に間に合わないから
- ④弁当を持ってきているから
- ⑤ゆっくり食べたいから
- ⑥食べたいメニューがないから

<回答数 = 1 の回答>

- お昼を挟まない
- 家に帰る
- わざわざ利用する理由がない
- 学食に行くのが面倒（8号館から遠い）
- セコマ
- なんとなく
- にぎやかだから
- 興味がない
- 学校にいない
- 他のごはん屋へ行く
- 列に並ぶのが嫌
- 空調設備が良くない

<学生委員のコメント>

学生食堂を頻繁に利用しない理由として最も多かったのは「弁当を持ってきているから」であり、その割合は46.4%と昨年度（49.6%）と同様に高い水準を保っていた。学生の約半数が日常的に弁当を持参しており、経済面や習慣的な理由から学食以外の選択をしている実態がうかがえた。次いで多かった理由は「金銭的な理由から」22.7%、「ゆっくり食べたいから」18.6%、「空いている席がないから」19.2%であり、これらも昨年度と比較して大きな変動はなかった。一方、「移動があって次の授業に間に合わないから」は14.1%と昨年度（13.5%）とほぼ同水準であり、授業棟の配置や移動動線が昼食行動に影響している状況は引き続き認められた。自由記述では、混雑や騒がしさを避けたい、列に並ぶのが煩わしい、教室から距離がある、味付けや価格に関する不満があるなど、個々の生活リズムや心理的要因に基づく意見も多く挙げられていた。以上の結果から、学生食堂を利用しない理由の多くは昨年度と概ね共通しており、経済的な側面や昼食環境に対する価値観が大きく影響していることがわかった。食堂の混雑緩和や座席数確保、価格帯やメニューの多様化など、学生がより利用しやすい環境づくりが今後も必要であると考えられる。